

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
相羽 洋子			
火2、金2			
添付ファイル			

科目の概要	公衆衛生学とは、地域社会の組織的な努力によって疾病を予防し、寿命を延長し、身体的ならびに精神的能力を増進するための技術と科学であり、人、地域社会および国民全体の「健康」を最終目標とする学問である。この授業では、公衆衛生の概念とその重要性に関する知識を得ることを目標とし、健康に関する諸問題を理解し健康の保持・増進を实践できるよう講義する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション、生活習慣の現状と対策 オリエンテーションにおいて、授業の進め方、成績評価等について説明する。 教科書117-118頁を読み、健康の定義を確認し、生活習慣病との関連について調べておくこと。</p> <p>第2回 健康日本21、健康日本21（第2次） 教科書120-122頁を読み、健康日本21の策定と評価、健康日本21（第2次）の取り組みと今後の課題について調べておくこと。</p> <p>第3回 身体活動・運動、喫煙行動、飲酒行動 教科書131-145頁を読み、身体活動・喫煙・飲酒の現状を理解し、その健康影響と社会的問題について調べておくこと。</p> <p>第4回 睡眠・休養、ストレス、歯科保健行動と歯科疾患 教科書146-156頁を読み、睡眠・休養・ストレスの概念、歯科保健行動と歯科疾患について調べておくこと。</p> <p>第5回 がん、循環器疾患の疫学と予防対策 教科書159-166頁を読み、がん及び循環器疾患の発生要因と予防を調べておくこと。</p> <p>第6回 代謝疾患、骨・関節疾患の疫学と予防対策 教科書168-179頁を読み、代謝疾患及び骨・関節疾患の発生要因と予防を調べておくこと。</p> <p>第7回 感染症 教科書180-187頁を読み、感染症及び予防接種の概要と分類を調べておくこと。</p> <p>第8回 精神疾患、その他の疾患、自殺・不慮の事故・虐待・暴力 教科書188-198頁を読み、精神疾患やその他の疾患の現状と保健対策、自殺・不慮の事故・虐待・暴力の現状や対策を調べておくこと。</p> <p>第9回 まとめ、中間試験 第1回から第8回まで学習した内容を復習し、中間試験を行う。</p> <p>第10回 保健・医療・福祉の制度 教科書203-219頁を読み、社会保障の概念及び医療制度・福祉制度について調べておくこと。</p> <p>第11回 地域保健 教科書223-230頁を読み、地域保健活動の概要を調べておくこと。</p> <p>第12回 母子保健、成人保健 教科書233-252頁を読み、母子保健事業、特定健康診査・特定保健指導の概要を調べておくこと。</p> <p>第13回 高齢者保健・介護 教科書255-262頁を読み、介護保険法及び要介護認定・介護サービスの概要を調べておくこと。</p> <p>第14回 産業保健 教科書265-276頁を読み、産業保健の現状と対策及び労働衛生の3管理の概要を調べておくこと。</p> <p>第15回 学校保健、国際保健、まとめ 教科書279-300頁を読み、学校保健及び国際保健の概要を調べておくこと。 第10回から第15回まで学習した内容を復習する。</p>
学習到達目標	日本の主な疾患の現状について学び、疾患の発生と予防の観点を理解できるようになる。我々のライフステージにおける保健の現状と課題について知り、保健、医療、福祉、介護等の制度について説明できるようになることを目的とする。
授業の方法	講義形式
成績評価の方法	主として、中間試験（40％）と定期試験（50％）の合計を基準とするが、授業参加態度（10％）も考慮に入れて評価する。
教科書・テキスト	社会・環境と健康 改訂第5版 古野純典・辻 一郎・吉池信男編、南江堂
参考書	国民衛生の動向 2019-2020（（一財）厚生労働統計協会） 他は必要に応じてプリントを配布する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞・ニュースなどを通じて、健康や公衆衛生に関する社会的な話題に関心をもつこと。

履修上の留意事項	居眠り、携帯電話・スマートフォンの操作、他の科目の勉強、等は厳禁とする。
オフィスアワー	火曜日 13時~17時
実務経験	薬剤師、衛生工学衛生管理者、衛生管理者
その他	